

【From Kobe 1月 年賀】 2017年 年の初めに 2017.1.1.

◆ 2017年激動の時代 老をものともせず、乗り切ってゆきましょう

日本人の心の故郷「縄文」・日本の国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをはせて



須磨海釣り公園から 須磨・明石海峡



薄暮の夕刻 新しい年を迎える神戸の街に 希望の美しい虹がかかりました 2016.12.27



「山は海の恋人」
森の中で 水に溶け込んだ鉄分は
川を下り、豊かな海を育む

たたら山跡 下種吉鍋 荒尾山鉄山跡を訪ねる 2016.7.20.

和鉄の故郷:古代製鉄神 降臨伝承の地 兵庫県千種岩鍋
久しぶりに山中のたたら跡を訪ねました



鉄の起源・日本への伝播の道「Iron Road」がパールを脱ぎ始めた
愛媛大古代鉄研究センターの成果に興味深々です

暖かな年の初め 平和で明るい年でありますよう願っています

鉄」に携わって約50年 70歳を超えましたが、

元気に歩けることに感謝しつつ、まだまだ、好奇心いっぱい。

相変わらず、気の向くまま、足の向くまま元気に 風来坊・Country Walk を楽しんでいます。

物忘れや頭の回転力・俊敏さの衰えはいかんともしがたしですが、多くの人たちに支えられ、

孫たちに振り回されることも多いのですが、家族ともども元気に暮らしています。

皆様のご健康とご多幸を お祈り致します
仲間の元気を活力に!! 無理せず お互い元気にと
本年もよろしくお祈り致します

平成29年 元旦

by Mutsu Nakanishi from Kobe

2017年激動の時代 老をものともせず、乗り切ってゆきましょう

日本人の心の故郷「縄文」・日本の国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをはせて

地殻変動活発化の時期にさしかかた今、現代人が引き起こした地球環境変化による異常気象も加わり、地球上どこにいても 巨大災害がわかにも降りかかる「今まで経験したことのない想定外の災害」と他人ごとではすまされぬ時代

一方、今まで謳歌してきた自由経済の高度成長・高度情報化社会を支えてきた国際金融中心のグローバル化・効率・大量消費は個人から国・地域の激烈過酷な競争を生み、戦争の脅威は一向に去らず、格差の増大と弱者切り捨てによる一握りの富裕層と大多数の貧困層への2極分化が進み、出口は見つからず。そして 先進国は軒並み高度成長から 人口減少を伴う成熟社会へ 情報化社会のほころびが随所にわれわれの目にも見えだし、ますます幸福感が遠のいてゆく。

高度成長期を支配してきた価値観「金」・「中身のない薄っぺらなスピード」はすでに破たん。新しい時代の価値観の創生が待望されている。

既存勢力への失望感からか 良くも悪くも中間層の不満のはけ口に迎合した強圧指導者への誕生が続き、グローバル・国際協調の言葉とは裏腹に、大国は利己的な自国防衛に走る。

世界はもう猶予を許さぬ変革の時代へ 大きく舵を切り始めている。日本はどこへ向かうのか 本年は誰の目にもそんな変革の時代がはっきり見えだした一年の始まりである。

年の初め 愚痴は言うまい。でも 明日は我が身。

そんな激動の時代を乗り切ってゆく価値観・エンジンは何なのだろうか？

先が全く読めない混沌 年寄りといえども変革の時代の生き方が問われている。

振り返って現在の日本を見るといまだに高度成長の価値観から脱却できず、相変わらずの頂点迎合の 人任せのその場しのぎの路線に明け暮れる。

- ◎ 昨年末 オスプレーの沖縄墜落事故 そしてその後の米国司令官の沖縄を見下した発言 あの大膽な安倍総理は、そのさなか沖縄の基地一部返還の式典に沖縄へ行きながら、なぜ沖縄の人へ オスプレーについてのコメントを一言も発さないのでしょうか・・・ しかも 笑顔で オスプレー墜落の責任者で 沖縄見下し発言のその人と笑顔で握手をしている。誰が見ても 世界的情勢などお構いなし。日本は米国頼み。 米国支持ほよう祝儀の猛進と映る。日本の総理大臣の姿勢がこれかと・・・。沖縄を辺境の人としか とらえられぬ姿勢 さびしい限り 明日は我が身。 他人ごとではないと。

「心の痛みも喜びも とともに分かち合う」という日本人の特質「心の多様性」を自ら捨て去ろうとしている こんな指導層に 変革の時代の舵取りを任せてよいのだろうか・・・。

そんな激動の時代を乗り切ってゆく価値観・エンジンは何なののでしょうか

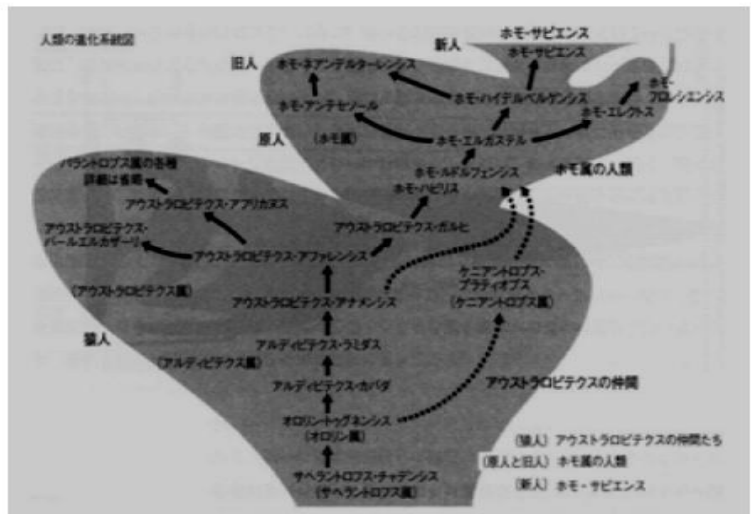
最近 私がよく口にする「縄文帰りの」・「日本人の心」、また、この変革の次世代に新しい顔を見せる「鉄」について なにか ヒントがないのかと、和鉄の道・Iron Road に記載してきた小文を書き出してみました。 年のはじめ 私の思い。言葉足らずですが、お許しください。

先進国は日本を含め、すべてが 望むと望まざるにかかわらず、高度成長の躍動の時代から 成熟社会・人口減少の「激変の時代」へ大きくカーブを切った 言い換えると人類が幾たびも経験してきた絶滅の厳しい淵に立っているともしえる。

約70億人いる現代人のルーツをたどると「我々は約10万年前 東アフリカにいた小さな集団の たった一人の女性の子孫」であることが 最近の遺伝子研究から明らかになっている。

このたった一人の女性の子孫という綱渡りの細い道でつながり、人類は今 約 70 億を超える繁栄を謳歌していること。そして、この間 他の祖先たちは繁栄を極めた幾多の命をつなぎながらも、苦難の道を乗り越えられず、すべて絶滅していることを忘れてはならない。

我々の祖先たちは 地球規模の幾多の苦難を綱渡りのように乗り越えて来た。その力はなにか？ここに、今 現代人が直面する苦難を乗り越え、生命をつないでいくヒントがある。



人類の進化系統図

【 和鉄の道・Iron Road を眺めなおして 見つけた小文 】



人間とは何か。人間を人間たらしめているもの「分かち合う心・仲間を大切に心通わせる心」

NHK ヒューマン アフリカからの旅立ち ~分かち合う心の進化~ PR コピーより

生命をつかさどる元素文明を支える元素として「鉄」がなければ人類は生きてゆけない
 溶鉄の輝き「閃光」と鉄の黒光り「肌光」その輝きの中に燦然と輝く「鉄」と人類の知恵の数々
 人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道・知恵が「他人を思いやる心」
 かつて日本には 1万年の長きにわたって平和な社会を持続した形成してきた時代があった
 日本人の心のふるさとといわれる「縄文」 そのエンジン「縄文の心-他人を思いやる心」だった
 「鉄」と「縄文の心」 激変 の今 時代を生き抜く唯一のエンジンである
 現代社会においてはしばしば「なまっちょろい」と呼ばれ、切り捨てられてきた「心」
 でも 一旦危機災害に直面した時には 誰しもがその力強さに心打たれる「心」
 「鉄」も今 激変する時代の中で、新しい姿を見せ、新しい指針を示し始めた。
 「鉄は国家なり」の「鉄」から「豊かな海を育てる優し鉄」・「地球温暖化を軽減するかもしれない鉄」へ



ヒトと動物を分けるのは道具・言語の発明・火の使用などハード面ばかりが 取り上げられてきたが、それをもたらしたホモサピエンスの行動を本能として備わっている 「仲間を大切に思う心の進化」と「集団の協力」の視点から一つ一つ検証してゆくと、難局を次々と乗り越えていく祖先たちの姿を くっきり浮かび上がってくる。現代人の直接的な祖先 現生人類・ホモサピエンスが生まれたのは今から 約 20 万年前。現在約 70 億人いる人類のルーツをたどると、我々は約 10 万年前東アフリカにいた約 2000 人程の集団の中の

たった一人の女性の子孫であることが、最近の遺伝子研究から明らかになっている。
このたった一人の女性の子孫という綱渡りの細い道でつながり、人類は今約70億を超える繁栄を謳歌している。
人類が困難を生き抜いてきた力 それは「仲間を大切に思う心の進化」と「集団の協力」
約1万年の長きにわたって永続した日本の縄文には その実証例 が燦然と輝いている
幼くして歩けぬ障害をもった少女が、年老いるまで 集落の人たちに見守られ、
生活を共にしてきた例が見つかっている。

「心優しき縄文人」「日本人の心の故郷」と言われる所以である。

また、「地球は鉄の惑星」

もし 鉄が地球になかりせば、地球の生命体も生命を維持できず、存在しえない。

動物の血液中の鉄や植物の光合成 そして山海の動植物の生態系も「鉄」により、維持されて
鉄が関与している。

縄文の森を含め、太古の昔から、日本列島の沿岸には 古くから人日により守り継がれてきた豊かな里山・森
があり、最近 特に沿岸の山と海の資源の関係が議論されるようになって、
「沿岸の山や森が豊かな海を育てる」「山は海の恋人」と耳にするようになった。

山に含まれている鉄分が森の植物によって、水に溶けこむ鉄となって、川を下り、豊かな海を育てる。
魚貝や海産物の資源の形成・生態系の循環には豊かな山や森の存在が欠かせぬことが明らかになっている。
ここでも「他人を思う心」・「集団の協力をエンジンに地方自立循環型経済創生の柱として、
豊かな海の資源開発が進められている。

【関連の和鉄の道・Iron Road by Mutsu Nakanishi】

1. 「利他的精神」について 朝日新聞天声人語にこんな記事が・・
競争社会から成熟社会へ 日本に必要なのは「心の優しさ」では 2014.6.1.
<http://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/2014mutsu/fkobe1406B.pdf>
2. NHK「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」 NHK 取材班「Human ヒューマン」 2012.4.5.
<http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/iron8/1204human00.htm>
3. 2016年年初めに《縄文の心》
世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」の心を考える 2016.1.1.
<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/2016mutsu/fkobe1601.pdf>
4. 地球誕生から約46億年 鉄の歴史と役割にびっくり
「岩波の科学ライブラリー「鉄学 137億年の宇宙誌」を読んで 2010.3.5.
<http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/iron6/1004earth00.htm>

愚痴は言うまい 前向いて
歳をとるとともに 頭も回転せず
スピードについてゆけずですが、まだまだ元気 好奇心もある
これからも仲間の元気を活力に!! 前向いてと
お互い無理せず元気に よろしくお祈りします

2017.1.1.

from Kobe by Mutsu Nakanishi



新しく塗りなおされた新長田の鉄人28号
原色に近い色に塗りなおされ、こぶしを高く 振り上げる